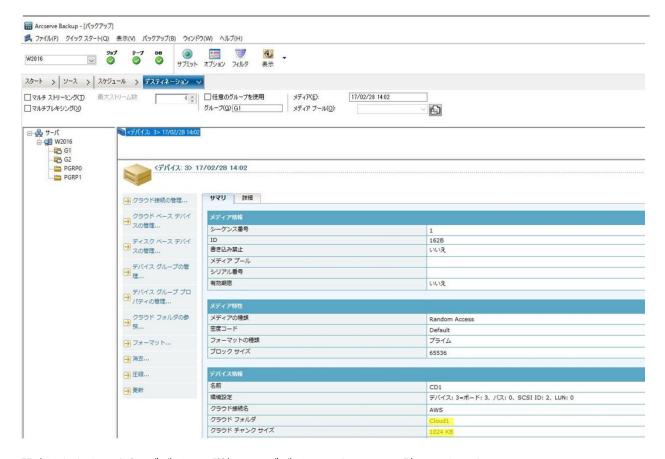
Arcserve Backup で直接クラウドへバックアップを行う方法

Arcserve Backup r17.5 はステージング デバイスを介さず、直接クラウド ストレージにバックアップできます。

直接クラウドにバックアップを行う方法

- 1. 対象とするクラウド接続とクラウドベース デバイスを作成します。 詳細は Arcserve Backup for Windows 管理者ガイドをご参照ください。
- 2. バックアップ マネージャを開き、[スタート] タブの標準バックアップを選択します。
- 3. ソースとカスタム スケジュールを指定した後、[デスティネーション]でクラウド デバイスを選択します。
- 4. バックアップ ジョブをサブミットします。



設定されたクラウド デバイスの詳細は、デバイス マネージャで確認できます。



制限事項:

- [カスタム] スケジュール(一度だけ、または繰り返し)が利用できます。
 クラウド デバイス がメディア プールに対応していない為、ローテーションと GFS ローテーションは利用できません。
- 2. クラウド デバイスからの惨事復旧(DR)はサポートしていません。
- 3. [クラウド パージ ポリシー]は利用できません。そのため、デバイス マネージャの[クラウド フォルダの参照]や、クラウド ベンダのポータルから手動で削除する必要があります。



以下のいずれかの方法で、クラウドから手動でデータを削除できます。

- [デバイス マネージャ]を開き、ツールバーの [クラウド フォルダの参照] をクリックします。 参照画面で削除するフォルダを選択し、右クリックで[削除]を行います。
- 「リストア マネージャ]を開きます。
 - 1. 「ソース] タブから[セッション単位]を選択します
 - 2. セッション ディレクトリ ツリーから、削除対象のクラウド セッションを選択します。
 - 3. 選択したセッションを右クリックし、[選択したセッションの削除]を選択します。セッション データはクラウド ストレージから直ちに削除されます。

サポートするクラウド:

動作要件に記載された全てのクラウド サービスをサポートします。

このドキュメントは以下のナレッジ ベースを翻訳し、加筆したものです。

TITLE: Arcserve Backup support to backup directly to cloud